

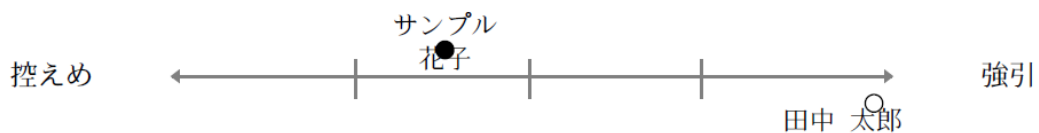
## 「比較レポートの効果的な使い方」

比較レポートは、研修参加者の回答が完了すると作成でき、Everything DiSC プロファイルと共に活用することができます。

このレポートは、プロフィールに回答している者同士で作成することができます。職場で他の人と協力してより効率的に働くためのヒントを提供するもので、常に1対1で作成され、その内容はそれぞれの組み合わせによってカスタマイズされています。構造化されたフォーマルなレポートを介することで、普段は言及しにくい問題について話し合いを始める良いきっかけとなります。

レポートの活用方法は2つあり、集合研修でのトレーニングにどの程度の時間を割けるかによって使い分けることができます。

集合研修のなかで時間を取る場合は、その場で参加者2人1組にレポートを使ってもらうことができます。その場合は事前に組み合わせを決めておき、レポートを印刷しておきます。レポートを配ったあと10分程度時間を取り、自分が比較されている相手と話を準備してもらいます。一連のセクションに一つ一つ目を通してから、自分自身と相手のそれぞれの傾向を示す結果が一致しているか、していないかを判断してもらいます。



あなたはいくらか控えめです。田中 太郎さんは非常に強引です。サンプル 花子さん、あなたは田中 太郎さんと比べると、好き嫌いをあまりはっきりと伝えるほうではないでしょう。

### ▶ チェックする ✓ X ?

#### サンプル 花子さんの傾向

- 議論を先導するのを若干ためらう傾向がある
- 自分の意見を伝える前に尻込みする傾向がある
- 時には、あまり自信がない人という印象を与えるかもしれない

#### 田中 太郎さんの傾向

- グループの中では、先導する傾向がある
- 自分の信念を強く推し進める傾向がある
- 意固地である、または遠慮なく物を言うという印象を与えるかもしれない

次に45分～1時間程度をとり、参加者に比較の相手とペアになり、一連の項目に目を通して今後の協力体制をどうするかを話し合ってもらいます。次に彼らが協力することの隠れた利点と障害を聞き、一緒に働くためのヒントを見るよう指示します。

比較レポートを受け取った参加者には、以下の質問をします。

「特性の違いは、二人の関係や仕事を共同で行う際の効率にどう影響しているか？  
より改善するためにできることは何か？」

そして二人で話し合いながら10ページに記入をしてもらい、改善のヒントを考えるよう指示します。もしかしたらペアを一巡する時間しかないかもしれませんが、参加者はこれで比較レポートの使い方を理解でき、集合研修が終了した後にそれを利用して、同僚との関係を改善していく方法がわかります。もし参加者がお互いを既知っているのであれば、ペアを作るとは簡単です。しかしそうでないとしても、ランダムにペアを作ることができます。そして「もしあなた方が来週一緒にプロジェクトを始めるとしたら、自分たちの行動について具体的に留意すべき点は何かを考えてみましょう」と指示を出し、ケースエクササイズを行います。

順位	二人の特性	考察と話し合い
	あなたはいくらか控えめです。田中 太郎さんは非常に強引です。 	
	あなたはいくらかそつがない人です。田中 太郎さんは非常に率直です。 	
	あなたはいくらか冷静です。田中 太郎さんは非常にエネルギッシュです。 	

もし集合研修でペアごとのエクササイズの時間を取れない場合は、参加者に比較レポートを見せて簡単な説明をします。そして比較レポートを配布し、持ち帰りの課題か次の作業ステップとして、各自がさまざまな同僚との比較を試みるよう指示します。その際は、常に相手とミーティングをする前に個人で比較レポートを読み込んで考えておくよう念を押します。両者が会って話をする前に、自分と相手の行動傾向について、それぞれが自分の意見を持つておくことはとても大切です。

過程を継続的に見ていくと、参加者同士の意見は衝突することあれば、一致することもあります。それを覚えておいてください。意見が対立するからといって協力が難しいとは限らず、意見が一致するからといってスムーズにいくとも限りません。ただし全体を通して意見が同じ場合は、具体的に深い理解に基づいて協力できる利点があり、前進するためのヒントも得ることができます。

どちらの場合でも半年以内にレポートの 10 ページにおいて両方で決めたことを確認して、実際にそれに従って行動してきたかどうかを見るよう指示します。約束は果たされていたでしょうか？ 自分のふるまいへの反省を踏まえて行動したでしょうか。おそらくは、プレッシャーに耐えなければならない時間や限界も経験したのではないのでしょうか。10 ページは、各自が特定の人物に対する自分の態度をあとで見直すために利用できます。